



TINES

anthology

サウンドバンク マニュアル

Version 1.0
JP 160322

ソフトウェア使用許諾 (EULA)

以下の規約を理解、承諾するまで、本製品の使用はお控えください。
本製品をお客様あるいはお客様が許可した方が使用することは、本規約に同意したことになります。

本エンドユーザーライセンス規約(以下"EULA"または"本規約"といいます)は、お客様と UVI(所在地:159 rue Amelot, 75011 Paris - France)の間で交されるUVIの作成したソフトウェア、書類およびその他のマテリアルの使用に関するライセンス規約になります。

本規約に同意しない場合は、直ちにUVI製品(以下"本製品"と呼ぶ場合もあります)の登録、インストールもしくは利用を中止してください。

UVI製品の使用、あるいは第三者に使用許諾をした場合、本規約に同意するものとします。

A- ライセンス許諾

- UVIは以下の利用規約に基づき、お客様に本製品の非独占オーソライズドコピー使用権を許諾します。
- UVI製品のライセンスはシングルユーザーライセンスです。お客様の所有するコンピュータまたはiLokドングルに最大3台まで認証して使用することが可能です。
- ソフトウェアライセンスでは、第三者への賃貸または貸与する権利はありません。これらの行為は禁じられています。
- 本規約は、別項で記載する規定に該当しない限り、ソフトウェアライセンスを第三者に移譲、再販することが可能です。その際、iLokアカウントから"Transfer License"の手続き申請を行い、iLokライセンス管理をするPace社にライセンス移行手数料(ライセンスごとに25米ドル、最大50米ドル)を支払います。その後、同社からの依頼を受けてUVIの承認と譲渡先へのシリアル移行を取り仕切ります。移譲後、元のライセンス登録は削除されます。iLokへの申請手続き、連絡は英語でおこないます。
- バンドルで入手した個々の製品、あるいは他の製品へのアップグレードやクロスグレードに使用した製品の再販およびライセンス移譲の認可はありません。
- 購入された製品に含まれているサウンドやサンプルは、追加ライセンス料の支払いやUVIへのソースアトリビューションを提供することなく、商用の制作、録音物に使用できます。
- 本規約は、再販もしくは配布利用の為に本製品を使用することを禁じます。その範囲は、他のディスクやデバイスに収録、再フォーマット、ミックス、混合、フィルター、再合成に及びます。サウンド、マルチサウンド、サンプル、マルチサンプル、ウェーブテーブルに組込むための編集行為、サンプラーやマイクロチップなどソフトウェア、ハードウェアを問わず、全てのサンプル再生装置のためのプログラムやパッチ編集も禁止事項に含まれます。本製品を他者が利用するサンプリングまたはサンプル再生デバイスの為の販売、あるいは配布することは出来ません。
- ライセンス違反が認められた時点で、本契約は終了します。その場合、コピーを含め、全てのUVIソフトウェアとドキュメントを速やかにUVIに返還しなければなりません。
- UVIの保有する全ての権利は、本書で明示していません。

B- ライセンス認証

- UVI製品の使用にあたり、シリアル番号の登録(uvi.net/register)とデバイスのライセンス認証が必要です。UVIは、製品のライセンス認証にPace AP社のiLokシステムを採用しています。認証にiLokアカウントの取得とiLok License Manager(いずれも無料)も必要です。iLokアカウントは、シリアル番号登録時にUVIウェブサイトを通じて取得できます。iLok License ManagerはUVI WorkstationやFalconとともにインストールされます。UVI製品は、未登録、未認証の状態で使用することはできません。
- 製品シリアル番号の登録をする際、UVIデータベース上に登録されたお客様の姓名、メールアドレス、住所が必要です。未登録の場合、UVIアカウントを作成します。UVIは128ビット暗号化されたSSL接続の最新の通信保護規格を採用しています。お客様からの情報をウェブ経由で安全に当社サーバーに送ることが可能です。UVIの個人情報に関する扱いについてはこちらをご覧ください: <https://www.uvi.net/privacy-policy>
- UVI製品のライセンスは、最大で3つのiLokドングルもしくはコンピュータに認証して同時使用が可能です。ライセンス認証と解除は、専用ソフトウェアのiLok License Managerを通じて行います。

C- ソフトウェアの保護

お客様は、本製品にコピープロテクションが使用されていること、本製品を利用するにあたってコピープロテクションに関する操作を行うことに同意するものとします。お客様は、UVI によって実装されたコピープロテクション技術の回避、改造あるいは変更を加えないことにも同意するものとします。

D- 所有権

本製品の所有権、封入されているデジタル記録された音の権利は、(いかなるコピーも) UVIによって保持されます。本製品のコピーは、本規約に基づいてお客様に提供されます。本製品のライセンス(ソフトウェアを利用する権利)のみがお客様によって購入されたものです。

E- 契約期限

この合意による契約期限は、本製品のパッケージの開封あるいは使用を開始し、終了するまで有効です。お客様がこの期限条件内に何かを破壊した場合、この契約は終了します。終了に際して、UVI に本製品のコピーおよび関連書類をすべて破壊し返却することで、契約の終了に同意するものとします。

F- 規制

本契約に基づく許可される場合を除き、本製品および関連書類の販売、リース、賃貸、ライセンス許可、配布、転送、複製、再プロデュース、公開、改造もしくはタイムシェアは禁じられています。

G- NFR(転売不可)シリアルと無料製品

シリアル番号に"NFR"の記載があるUVI製品のライセンス(以下"NFR"といいます)は、デモ、テストあるいは評価利用のために用意されています。NFRは商用利用不可で、転売、移譲をすることはできません。NFRにはアップグレード、クロスグレードなどの特別セールオフアーから除外されます。同様に関連したバウチャー(割引券)の発行を受け取ることもできません。さらにNFRの所有者は、商用バージョンの製品と同梱されているバウチャーを受け取る権利もありません。

無料製品はUVI、あるいはUVIと提携する第三者がプロモーション目的など、製品バンドル等の方法によって無料配布された製品(ライセンス)を指します。無料製品は商用バージョンと同様、商用利用可能ですが、NFRライセンスと同様、転売、移譲をすることはできません。また、認証デバイスの破損等に関するライセンス復帰の対象外にもなります。"NFR"と記載された無料製品のライセンス規約は、無料製品の規約が優先されます。

H- サポート責務の免除

UVIは可能な限り、製品使用のための技術的な問題解決に努めます。ただし、UVIは追加情報、ソフトウェア、技術情報、ノウハウ、サポートを提供したり、利用できるようにする義務を負いません。

I- 仕様とシステム条件

本製品の技術仕様は、推定あるいは近似値で記載している場合があります。環境が千差万別であるため、これらの値は目安であり、互換性や動作を保証するものではありません。UVIは動作に必要な条件をすべてウェブサイト記載しています。エンドユーザーは、製品の購入前にエンドユーザーのデバイスがUVI製品のシステム条件を満たしていること、および該当製品がエンドユーザーの要件を満たしているを確認する責任を負います。

本規約はフランス共和国の法律に基づいて制定されています。解釈をするにあたって、英語版のEULAを使用します。

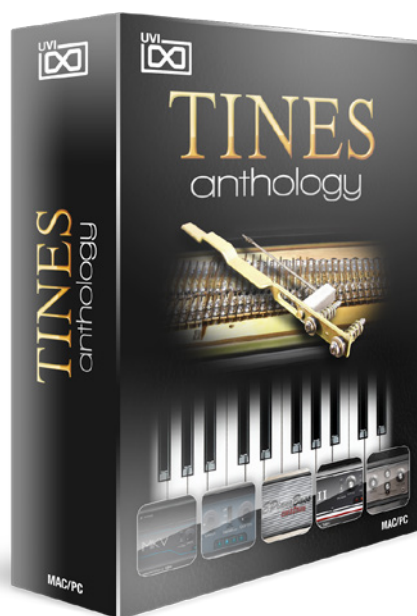
©2017 UVI. All rights reserved.

全ての登録商標はその権利帰属者の所有物です。

目次

イントロダクション	4
操作画面	
メイン	5
オプション設定	6
インストゥルメント(収録楽器)リスト	7
リンク	9
クレジットと謝辞	10

イントロダクション



Tines Anthology

美しいエレクトリックピアノを8モデル収録した素敵なコレクション

Tines Anthology(ティンズ アンソロジー)は、エレクトリックピアノの代名詞となる最も知られたブランドの、mk 1、mk 2、mk III、mk V、mk 7を含む1965年から2007年までの8モデルを1つのパッケージに収めた、素敵なソフトウェア音源コレクションです。

収録モデル:

- ・ 1974 と 1978 年に生産された初期の MK I モデル
- ・ MK II : 1981 年に登場し、最も親しまれ、幅広く使用されているエレクトリックピアノ
- ・ MK III : 1982 年に生産された非常に珍しいモデル
- ・ MK V : 1984 年に発表された印象的で珍しいモデル
- ・ MK 7 : 2007 年にリリースされ最新モデル
- ・ Piano Bass : 1965 年と 1970 年に再登場し、The Doors の楽曲で重用されているモデル

このコレクションは、これまでの UVI 製品と同様、音質と実際に演奏した際の音楽的な響きを重視した設計となっています。ハイエンドの機材と卓越したサンプリング技術による 24bit / 96 kHz で収録した素材のみならず、ボイスイングやチューニングなど、実機と変わらぬ演奏感覚になるように仕上げられています。

完成した音源には、スピーカーシミュレーター、ドライブ、コーラス、フェイザー、スプリングリバープ、トレモロ、オートパンなど、専用のエフェクトが用意されています

最低システム条件:

- ・ UVI Workstation 2.5.12 以降または Falcon 1.0 以降
 - ・ 1.1GB 以上の空きディスク容量
- インストールとオーソライズに関する詳しい情報は[サウンドバンクインストールガイド](#)をご覧ください。

操作画面 - メイン



1 ▶ コントロール

- » **SPEAKER(スピーカー)**
アンプとスピーカーを通したサウンドを演出します。
- » **DRIVE(ドライブ)**
歪みの量の調節し使用します。
- » **TREMOLO(トレモロ)**
トレモロとオートパンエフェクトの切り替えまたはオフをします。
- » **DEPTH(デプス)**
トレモロ/オートパン効果の深さを設定します。
- » **SPEED(スピード)**
トレモロ/オートパン効果の速度を設定します。
- » **Spring(スプリングリバーブ)**
リバーブエフェクトの量を設定します。(典型的なスプリングリバーブ効果を演出します。)
- » **Chorus/Phaser(コーラス/フェーザー)**
トレモロとオートパンエフェクトの切り替えまたはオフをします。
ノブはコーラス/フェイザー効果の量を調節します。
- » **VOLUME(ボリューム)**
メインボリュームの調節に使用します。

2 ▶ ベロシティカーブ

MIDI入力されたベロシティ情報の曲線を設定します。演奏スタイルに合わせたカーブの選択をします。

MIDIキーボード側でベロシティカーブを設定をする場合は、リニア[1]にします。

操作画面 - オプション設定



1 ▶ Options(オプション表示)

オプションパラメーターを表示します。

2 ▶ オプション設定

- » **Vel. curve(ベロシティカーブ)**
ベロシティ感度の調節をします。
- » **Vel. amount(ベロシティ適用量)**
ベロシティの適用量を設定します。
- » **Pedal vol.(ペダルボリューム)**
ペダルノイズの量の調節に使用します。
- » **Release vol.(リリースボリューム)**
リリースサンプルの音量調節使用します。

3 ▶ イコライザー

- » **Bass(ベース)**
低域のブースト/カットをします。
- » **Mid Freq(ミドルフリクエンス)**
ミドルバンドの周波数を設定します。
- » **Mid Gain(ミドルゲイン)**
中域のブースト/カットをします。
- » **Treble(トレブル)**
高域のブースト/カットをします。

収録楽器



エレクトリックピアノは1940年代に開発された楽器です。チェレスタとエレキギターで使用されていた技術を利用しています。実際、その代用として利用されることもありました。そのアクションは一般的なアコースティックピアノと似ていますが、アコースティックピアノはフェルトで覆われたハンマーによって弦を叩いて発音するのに対して、このピアノはフェルトチップのハンマーで"ティン"と呼ばれる金属棒を叩いて発音をします。(エレクトリックピアノのハンマーは1970年以降、ネオブレンチップのプラスチック製のものに改良されています。)ティンの形状は長さが異なる非対称の音叉に似た形をしていて、特徴的な響きを生み出します。このピアノは1970年から84年の間に生産され、73鍵と88鍵仕様のものやステージモデル、アンプとスピーカーを含むスーツケースモデルなど、用途に合わせて様々なバリエーションが誕生しました。

エレクトリックピアノの絶頂期は70年代初期から80年代中盤までに亘り、The Doorsの「Riders on the Storm」、Billy Joelの「Just the Way You Are」、Paul Simonの「Still Crazy After All These Years」、Styxの「Babe」、Stevie Wonderの「You Are The Sunshine Of My Life」、Steely Danの「Peg」、Pink Floydの「Sheep」のイントロ、the Beatlesの「Get Back」(演奏は Billy Preston)、さらにはジャズフュージョン/クロスオーバーの定番曲: Chick Corea (Return to Forever)の「Spain」、Herbie Hancock (Headhunters) の「Watermelon Man」、Weather Reportの「A Remark You Made」、Bob James.の「Angela」(映画「Taxi」のテーマ) など、様々なヒット曲で印象的な響きを聴くことができます。

現在でもその甘く魅力的な響きは、ネオソウルやスムーズジャズをはじめ、様々なジャンルで重用されています。

Electric Piano Mk I [1975]



Mk I エレクトリックピアノの初期バージョン。もっとも温かみのあるサウンドが特徴です。

Electric Piano Mk I [1978]



Mk I シリーズのセカンドリビジョン。明るい鈴鳴りがより強調された音色が魅力です。

Electric Piano Mk II [1981]



1979年に発表されたMk II モデル。プラスチックハンマーの採用、土台の形状変更、ピックアップの刷新、ティン構造の強化など様々な点で改良が施されています。

Electric Piano Mk III [1982]



既存の電気回路にアナログオシレーターとフィルターを追加したリアモデル。エレクトリックピアノとシンセサイザーを同時に演奏できる効果を得ることができます。販売台数がごくわずかであった不遇の機種です。

収録楽器

Electric Piano Mk V (1984)



1984年のみに生産された Mk V モデル。軽量化されたボディをはじめほとんどの点で改良が施されています。ハンマーストロークは23%増したのも注目すべき点でした。愛好家の中にはこれが最高と評されたモデルです。

Electric Piano Mk 7 (2007)



2007年に劇的な復活を遂げた Mark 7 モデル。オリジナルの電気回路設計を踏襲しつつ、近未来的なデザインと各所を現代風に変更したモデルです。

Electric Piano Bass (1965)



世に出た最初のエレクトリックピアノ。32鍵のPiano Bassはそのネーミングと音域からも想像できる通り、ベースギターの代用品として使用されてきました。事実、その最低音はローEです。Piano Bass使用したもっとも知られているベースパートでもっとも知られているのはthe Doorsです。(Ray Manzarekの左手)








Electric Piano Bass Custom (1970)




Electric Piano Bassのプライベートカスタムバージョン。より深く、ダークなサウンドが特徴です。

リンク

UVI

- ホームページ uvi.net/ 
- サウンドバンクインストールガイド [installing_uvi_soundbanks_jp.pdf](#) 
- UVI Workstationユーザーマニュアル [UVIworkstation_UserManual_jp.pdf](#) 
- 登録済み製品の確認とダウンロード uvi.net/my-products 
- FAQ(良くあるご質問とその回答) uvi.net/faq 
- チュートリアルとデモビデオ youtube.com/ 
- サポート uvi.net/contact-support 

iLok

- ホームページ ilok.com/ 
- iLok License Manager ilok.com/ilm.html 
- FAQ(良くあるご質問とその回答) ilok.com/supportfaq 

*iLok.comのサービスは、全て英語のみです。

TINES

anthology

クレジットと謝辞

UVI プロデュース

レコーディング / 編集 / サウンドデザイン

Damien Vallet
Kevin Guilhaumou
Alain J Etchart

ソフトウェアとスクリプト

Olivier Tristan
Remy Muller
Arnaud Sicard @ Acousticsamples

グラフィックデザイン

Anthony Hak

ドキュメント

Nathaniel Reeves
Kai Tomita

謝辞

Gert Prix @ eboardmuseum
Michael Garçon



UVI.NET